

ビジネスアイデアの概要

α シヌクレインやタウなどのタンパク凝集体が関連する神経変性疾患には効率的な早期診断の方法や根本治療が乏しい

この課題を解決するため、病的凝集タンパク質を標的とした、共有結合プローブ技術を応用した診断薬・治療薬の創出を目指す。現在、治療薬は薬剤候補を合成する基礎研究の最終段階。体外診断薬は検証段階。

ビジネスアイデアを事業化するための課題

研究面：プローブ分子の特異性向上、非臨床データの取得

資金面：外部からの資金調達を受けられるまでの研究開発のための資金獲得

チーム面：アメリカ・日本両国での展開を可能とする、経験のある人材獲得

事業化の見通し

診断薬においては、臨床検体でのバリデーション実験を開始し、そのデータをもとにライセンス契約を目指す。治療薬においては、初期のin vivoデータ取得までは助成金、その後は外部からの資金調達を検討している。最終的には製薬会社へのライセンスアウトを目指す。

事業者情報

出口 敦智

東北大学学際科学フロンティア研究所
東北大学医学部医学科

ビジネスアイデア概要図等

